建友会報

NO.4

発行所
建友会本部
古川市泉ヶ池25（〒989—61）
宮城県古川工業高校建築科内
（TEL 02292—②—3166）
振替口座 仙台 16347
発行人 桜田 国男
編集人 菊池 謙

視点を未来に据えよう

いまこそ 連帯が求められるとき——

建友会設立第四年度を送る

各支部財政の確立が課題

47年に発足してから、はやくも四年目を送ろうとしているが、この間、会報は四号、名簿は三号の発行をはたし、支部設立四をかぞえ、ますます充実したその内容は各方面から注目されはじめている。しかし、この四年間は会員のおかれている業界をはじめとし、大きく経済の激動期にさしかかった時期でもあった。この厳しさのなかでわれわれはこの連帯の輪をたしかめあい、大切にしていかねばならない。そしてこの時期にさき立って、すでにこの連帯の組織を持っていたということ、この先見を高らかに誇って良いであろう。

建友会の本質はあきらかに、会員一人一人がそれぞれ全会員と平等にコミュニケーションを保ち、互恵のなかにその個人の力量発揮のかてを見いだすことにある。

この意味で、傘下各支部活動の果す役割は大きい。又この支部間の交流が必要となろう。50年度は創設して日の浅い、こうした支部活動およびその交流に対して、事務局はかなり援助の方策を講じてきたが、明51年度（第五年目）以降においては左記の方向に進まれることを期待したい。

①各支部財政の確立

すでに石巻支部等にあっては、独自に財政を組んでいるが、敬弔に対する支出、他支部行事への参加経費等は本部財政を圧迫し、本来の活動を制約するおそれが早晩表面化するであろうから、これに対しての研究が必要となろう。

②支部間の交流

50年度はかなり積極的に他支部行事への代表派けんを促進したが、これは情報の交換の域をこえ、想像以上にその親睦に役立ってきたと思われる。明年度についても更にこれを強化したいが、①の費用の問題と、派けん役員が過重負担になることなどの問題があるので、役員間のローテートとか、一般支部会員にもその機会が廻ってくるとかの工夫がのぞまれる。

③各支部から事務局への情報提供

異動・動静・敬弔・行事等の情報提供が従前よりかなり活発化しているが、これをよりシステム化する方向を考慮していったらどうか。担当役員をきめておき、定期的に連絡をとるとか、敬弔の際の代表派けんを支部役員が代行する必要もでてこよう。

④各支部総会開催計画

すでに二回の総会経験を有することで、今後の運営にあたっては自発的・自立的に計画実施することが充分可能と思われる。又その内容に特色をもたせることも、マンネリ化を防ぐ要素となろう。

◇

いずれも多忙なる中での仕事であるから、担当役員の苦労は察するに余りあるが、建友会の根拠発展のため献身を期待してやまない。又、これらのことは一朝にしてできるものではなく、今後も事務局としては長い目で各支部の成長充実に、力をかしていく方針である。

スチール製図台 全員に配置さる

50年度産振予算によって、スチール製図机50基を購入、これで一年から三年まで全員スチール机一台専用の夢が実現した。

又、トランシット3、レベル3、平板5も同時に購入、これでトランシット7、レベル9、平板14と測量主要機械が一挙に急増し、授業時における操作実習が一段と強化されるものと期待されている。

建友会の維持は会員の力で!! 会費・名簿代の送金にご協力下さい。

年度会費と名簿代等の、あなたの未納分を振替用紙に記入して同封してあります。即日送金下さるよう重ねておねがいいたします。

郵便料金の値上げ、諸経費の高騰で、事務局も苦しい台所ですが51年度会費は据えおきとします。実は、会員の納入さえあれば、現行会費でも充分余なのですが。

よろしくご協力のほどを。

（事務局）

今春の 就職希望者全員内定

実る実績、強力なOBの援助

六月に解禁の求人募集は例年にない遅い出足で開始され、一時は職員室も深刻な空気がみなぎったが、次第に明るさがでてきて、十月開始の選考試験も何とか乗り切り、同月中にはほぼ全員の内定を見るという好調のうちに今年度の就職戦線も終結した。

結果的には、求人会社数一六七社（昨年度三五〇社）と就職希望数三六名に対して四・六倍と余力を残したものの、その内容を見ると例年求人の大手会社、上場クラスの会社の落ちこみはひどく、僅かに十数社を数えるといった有様で、今回内定会社中、十二社は新規開拓の会社であることからも、その厳しさが並のものではなかったことが知れよう。

現在（一月）各大学でも三〇～六〇％くらいの内定状況であるにもかかわらず、わが建築科にあっては、試験解禁後たちまちに全員内定に到ったいきさつは、やはりこれまでのOB諸氏の業界における実績が高く評価された結果にほかならない。

大会社でも求人取消が過半を占め、僅かに求人をするケースがあっても、全国から数名規模の求人であってみれば、まず求人の枠を確保することが第一関門である。

しかし本校は、この僅かな枠をほとんど獲得することができた。企業担当者は一様に古工建築科を真っさきに指定してもらえたのである。いくつかの会社では枠に入ったが、試験に落ちたケースがあるが、これは本人の責に帰せられるものであろう。OBは確実に後輩に道程を残しておいてくれたのだから。

又OBの母校への援助も著しいものがあった。内定三十六名中の十五名はあきらかに、ある特定のOBの働きかけ、援助による内定である。開拓のため再三上京、上仙した菊池科長の言葉によれば、OBの協力なくしては、やはり全員の早期内定は無理であったかも知れないとのべており、各地において寄せられたこのOBの善意をやがてOBになる新卒生に教えておくことが会の精神を貫くことに一致すると思うと結んでいた。

今年度はこうして乗切れたが、さて明年度以降はどうか。大きく揺れかわっていく時代の流れに、ながされず、視点を未来に据えて自己を鍛えることが今こそ必要なときはないように思われるのだ。

石巻副支部長 菅原雄一氏急逝

50/7/30、菅原雄一氏（工高9）が急逝された。三十五才。

氏は33年、菱中興業㈱に入社、以来十七年間当社において技術の研鑽を積まれ、社内にあって最有力の主任技術者として将来を嘱望されていたもので、関係者から哀惜されている。

又49/3、石巻支部結成に当っては、挺身その設立に尽し、選ばれて副支部長の任についたばかりである。

8/3の葬儀は、菱中興業㈱の関係者と建友会員の手で盛大に取り行われ、めい福を祈った。

建光院巧誉雄玄居士

石巻新支部発足

49年度末ぎりぎりになって石巻新支部が設立、支部活動に入った。

新支部長は久保会吾氏（工高10）会員数約三十名の小粒ながら、まとまりの良いことで、建友会の大きな推進力になると期待される。

S.50.3.20 石巻支部設立記念写真 （於 市内 割烹さとう）

●企業別建友会員分布状況

—2名以上— ＜S.50.12現在＞

（在籍数）	＜企業名＞
18	鹿島建設㈱ ㈱熊谷組 宮城県庁
17	㈱浅沼組
16	㈱橋本店 飛島建設㈱ ㈱大林組 戸田建設㈱
14	古川市役所
12	大木建設㈱ フジタ工業㈱
11	田中土建工業㈱ 安藤建設㈱ 阿部建設㈱
10	共立建設㈱ 日産建設㈱ 国鉄
9	木田建設㈱ 不動建設㈱ 池田建設㈱ 清水建設㈱ ㈱福田組
8	日本住宅公団 西松建設㈱ 住友建設㈱
7	仙台市役所 大成建設㈱ 大末建設㈱ ㈱平野組（一の関） 訓練校教官 田尻町役場
6	大和ハウス工業㈱ 東急建設㈱ 太平工業㈱ 岡本巧業㈱ ㈱内野工務店 松栄建設㈱
5	前田建設工業㈱ ㈱間組 宮城交通 菱中興業㈱ 石巻市役所 ㈱竹中工務店 郵政省 日東建設㈱ 国栄建設㈱ 鈴縫工業㈱
4	鉄建建設㈱ ㈱加賀田組 不二コンクリート工業㈱ 吉野建築設計 ㈱昼産技研 太平住宅㈱ 第一建設㈱ ㈱片山組 小田急建設㈱ 経済連設計センター 国税庁 ㈱富士工 電通局 ㈱平野組（築館） 古川工高
3	東亜建設工業㈱ 中央ビルト工業㈱ 神奈川県警施設 三菱建設㈱ 古久根建設㈱ 大和建設㈱ 増田建築㈱ 弥生建設㈱ 釜石市役所 ㈱村田工務所 熊取谷石材工業㈱ ㈱神馬木工場㈱ 桜田設計 ㈱佐藤設計 ㈱鈴建 丸か建設㈱ 仙北建設㈱ ㈱中野組 ㈱庄司工務店 東京都 東北地建 防衛庁 ㈱桜井鉄工所 田村建築設計 ㈱林組 ㈱堀越工務所 ㈱岩本組 仙台地検
2	㈱巴組鉄工所 丹野建設㈱ 坪井工業㈱ 宮城県警 板橋建築設計 旭化成工業㈱ 東海興業㈱ 阿部建築設計 大日本土木㈱ 岩出山町役場 完全防水㈱ カノ建設工業㈱ ㈱遠藤工務所 ㈱樋ノ池組 ㈱興盛工業所 三井建設㈱ 日本道路公団 ㈱丸本組 ㈱大場建設 ㈱岡本組 ㈱奥村組 佐々木(鉄)設計 丸石工業㈱ 小原建設㈱ 槇建築事務所 菅仲建築設計 宝建設㈱ ㈱瀬戸工業所 高砂建設㈱ 長岡建設㈱ 常磐開発㈱ ヤハタ鋼機㈱ ㈱吉田木工所 金原土建㈱ 中村工業㈱ 日本住宅パネ協 構装建築事務所 鵬建築設計 日徳興業㈱ 櫂建築設計室 仙台建築デザイン研究室 ㈱照井工務店 大内住研㈱ 佐々木(善)設計 ㈱鈴木弘人設計 東海住宅㈱

＜敬称略＞

T定規

▼「後輩のために力を」第2回仙台支部総会で小生が就職戦線の困難さを訴えたとき、「明春卒業していなければ一名採りましょう」と冗談まじりで早速応じてくれた仙台の設計事務所のS氏、▼日立のI氏は、日立地区の状況を電話で訊ねていた話のなかで、「先生、それでは私が一人お世話しましょう」びっくりした小生の声に彼はさりげなく明るく笑った▼上仙して訪れたA工務店の会長は、先生の方のOBのSさんから頼まれてますよ。と、それ以上のめんどうな会話は必要がなかった▼沢山のOB諸君のお世話になった、としみじみ思う。悪戦苦斗の数ケ月を経て、その思いはますます強くなるばかりである。これはいったい何だったのか。▼人のつながりはまず家族という共同体から始まって学校とか、やがては国家・世界へと。それぞれに一つの何かを核としてそれらは結束しあい、やがて更に上位のものへと飛躍を遂げていくのだ▼人間は一人で生きて行けるものではない。共同体を大切にするところが、他への愛を生み、さらには他の共同体と携えて、より偉大な世界を現出させていく▼建友会はそのある段階の一つの共同体にほかならない。閥とか狭隘なセクトであってはならないのだ。これら多くのOBの善意は大きく後輩のこころの中で育まれ、やがての日に花開くことであろう。うつらうつらと正月を、こんなことを考えて過ごしている

（建友会会則）

第一条（名称） 本会は建友会と称し本部事務局を母校建築科におく。

第二条（会員） 本会は母校建築科卒業生および建築科に在籍したるもの、ならびに建築科の現・旧職員をもって組織する。

第三条（支部） 本会には運営の便宜のため事業所別支部ならびに地域別支部・クラス会を設けることができる。

第四条（目的） 本会は母校建築科を核として会員相互の連帯を深め互助互恵の精神をもって大同団結し会員各自の力量の無限なる発展の原動力たらしめることを目的とする。

第五条（事業）
(1)会員相互間の密接なる連絡提携
(2)会報の発行
(3)会員名簿の発行
(4)講演
(5)その他必要なる事業

第六条（役員）
(1)会長 一名
(2)副会長 二名
(3)監事 三名
(4)支部長（若干名）
(5)幹事（若干名）
(6)事務局長（母校科長）
(7)顧問（若干名）

第七条（会合） 本会の会合は会長が必要と認めたときこれを召集する。

第八条（会計） 本会の経費は年度会費を会員より徴収してこれにあてる。

第九条（監査） 本会の収支は会長の指示によって行ない毎年三月末日監査を受けねばならない。監査報告は翌年発行の会報によって会員に周知させるものとする。

◇ ◇ ◇

この会則は昭和四十七年五月一日より施行する。

土木建築設計施工・生コン製造販売（JIS表示許可工場）
㋕ 丸か建設株式会社
代表取締役 佐々木 一男
（建友会社員） 手島精一（工高4） 村田 隆（工高8） 岡本和利（工高17）
本社 宮城県加美郡中新田町字赤塚37 ☎代表02296—3—2101
営業所 仙台市国分町3—10—21 ☎代表0222—21—4411

SUZUKI HIROTO
——建築・設計・監理——
株式会社 鈴木弘人建築設計事務所
H SUZUKI ARCHITECTZ & ASSOCIATES
仙台市八幡2丁目11番11号 電話 34—5967・34—7307（〒980）
JAA 日本建築家協会員 一級建築士事務所
（建友会所員） 鈴木弘人（工高3） 佐々木照幸（工高28）